



## 【しろがね特別支援学校のセンター的機能】

専門アドバイザーの仕事を紹介します



授業中、落ち着きがなくて、授業に集中できないという小学校1年生のA君の担任の先生に対して、以下の提案をしました。

A君を観察しての見取りとしては、学習にやる気があり、認めてもらいたい気持ちが強い児童です。しかし、行動が早く、暇な時間ができると目につくものを触ったり、友達の言動に反応したりしやすいため、叱られることが頻繁にあり、叱られると反発してしまいます。

そこで、担任の先生には授業のねらいを達成することを一番に考えるように提案しました。授業に集中して学習に取り組めるようになれば、必然的に注意を受けるような行動は見られなくなります。A君のような叱責経験が多い児童に対しては、こまめに肯定的な評価をしていくことが非常に効果的です。

暇で手悪さをしていたら、「この問題できましたか。難しいのにがんばりましたね」や「これどうやって考えたのですか。先生に教えてください」と、学習に結びつく言葉をかけてやる気を保てるようにしてもらいました。

また、授業自体も終了時の課題を与えるなど、暇をなくすような工夫やプリント課題などは数問できたら教師に見せに来させるなど、評価が多くなるような配慮をお願いしました。

その後、A君が変容したのはもちろんですが、担任の先生によるA君の見方が変わったことは大きな成果でした。

同じような相談でも児童が異なれば、対応が異なってきます。学習内容の理解が難しく、机上の算数セットを触るなど、集中が続かない小学校1年生のB君へは次のような提案をしました。

まずは授業内容をわかりやすく説明することです。教科書の問題をそのまま説明するだけでなく、その問題を行う前の既習事項を復習してもらいました。B君にも答えられるように、同じような問題を提示した後に、B君を指名しました。正答したB君はとても喜びました。そして、本時の説明はスモールステップを踏んで、確認してもらいました。机間支援を多めに行い、他児に分からないように、さりげなくB君に個別指導をし、難しい問題に挑戦したことを大いに認めてもらいました。すると、B君は「できたよ」と教師に自らノートを見せていました。

どの子どもも学習で「できた」と感じると、授業に取り組めるようになります。

## 校内研修等での講演会（講師）の予定

6月11日	高校入試に関するケース会議 講師	渋川市内中学校
6月17日	「自閉症スペクトラム児の指導について」講師	前橋市内小学校
6月24日	「通常学級に在籍する気になる子への 指導・支援について」講師	渋川市内小学校
7月22日	「特別な支援を必要とする児童がいる通常学級での 指導・支援」講師	前橋市内小学校
9月 3日	「行動につまづきのある子と一緒のクラス経営」講 師	前橋市保育士会
10月21日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
11月21日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
11月25日	60分ケース会議 指導助言	渋川市内小学校
12月16日	60分ケース会議 指導助言	玉村町内小学校
1月20日	60分ケース会議 指導助言	渋川市内小学校

## 相談依頼の件数（外部支援）4～1月の結果

対象	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高等学校	その他	計
件数	249件	210件	36件	11件	5件	511件

（その他は関係機関からの相談および研修の講師依頼）

日頃から、本校のセンター的機能の御理解と御協力をありがとうございます。  
障害の有無にかかわらず、子どもの実態把握・指導内容・指導方法について  
悩んでいることがありましたら、お気軽に御相談ください。お待ちしております。



群馬県立しろがね特別支援学校  
担 当：専門アドバイザー 尾岸 純子  
電 話：027-268-6111  
FAX：027-268-6113  
メール：shirogane-snes01@edu-g.gsn.ed.jp